【児童発達支援】　　（別添資料１）

事業所名　child hands大阪　　**支援プログラム（参考様式）**　　作成日　R7 年 2 月 1 日

| | | |
|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | | 楽しく生きる力を育み、自立への道をともに歩む |
| 支援方針 | | 私たちは、障がいの有無に関わらず、すべての子どもたちが 「知る喜び」「育つ楽しさ」「食べる楽しさ」 を感じながら、感覚と感性を磨ける環境を大切にします。<br><br>一人ひとりの個性を尊重し、安心して自分らしく過ごせる場を提供するとともに、自立した生活や多様な働く場の選択肢を広げる支援を行います。<br><br>子どもたちが 「できる」「挑戦する」「つながる」 体験を重ねることで、社会の中で自信を持ち、互いに支え合いながら成長できる未来をともに創ります。 |
| 営業時間 | | 10 時 0 分から 19 時 0 分まで　送迎実施の有無　(あり)　なし |
| | | 支　援　内　容 |
| 本人支援 | 健康・生活 | ◆日常生活の基本的な習慣を身につけ、健康的な生活リズムを確立する<br>・基本的な生活習慣の確立（手洗い・うがい・着替え・トイレトレーニング）<br>・食事のマナー（スプーン・フォークの練習、食事の姿勢、お片付け）<br>・睡眠・休息のリズムづくり（午睡の習慣、お昼寝前のルーティン）<br>・リラックス活動（静かな音楽・呼吸法・抱っこやスキンシップ） |
| 本人支援 | 運動・感覚 | ◆身体を動かしながら運動能力や感覚の発達を促す<br>・粗大運動（ハイハイ、ジャンプ、バランス遊び、トンネルくぐり）<br>・微細運動（指先を使う遊び：粘土、シール貼り、ひも通し、アイロンビーズ）<br>・感覚統合遊び（ボールプール、トランポリン、砂遊び、水遊び）<br>・リズム運動（音楽に合わせた体操やダンス） |
| 本人支援 | 認知・行動 | ◆遊びを通じて認知能力を高め、ルールを理解しながら行動をコントロールする<br>・形、色、数の認識遊び（パズル、積み木、絵カード）<br>・絵本の読み聞かせ（聴く力を育てる）<br>・簡単なルールのある遊び（順番を待つ、指示を聞いて動く）<br>・１日の流れを理解する練習（絵カードやスケジュール表を活用）<br>・コグトレ（プリントによる認知機能の強化トレーニング）<br>・タングラム |
| 本人支援 | 言語<br>コミュニケーション | ◆言葉の発達を促し、コミュニケーションの基礎を育む<br>・発語を促す遊び（動物の鳴き声や擬音語を使ったやり取り）<br>・簡単な質問応答（「これは何？」「どっちが大きい？」）<br>・指差し、ジェスチャーでの意思を伝える練習<br>・SST（ソーシャルスキルトレーニング）（挨拶、お願い、謝る練習、社会的行動、自己認知、コミュニケーション、思春期） |
| 本人支援 | 人間関係<br>社会性 | ◆お友達や大人との関わりを通じて社会性を育む<br>・お友達と一緒に遊び機会を増やす（並んで座る、おもちゃを貸し借りする、）<br>・ごっこ遊び、ロールプレイ（おままごと、電車ごっこ）<br>・先生やお友達と簡単なルールのある遊びを楽しむ（手遊び、おいかけっこ）<br>・「ありがとう」「ごめんね」の使い方を学ぶ |
| 家族支援 | | ◆家庭と連携し、子どもの成長を支えるためのサポートを提供する<br>・保護者向け勉強会、講座（発達障がいの理解、家庭でのかかわり方、食事・睡眠のサポート方法）<br>・個別面談・家庭訪問（子どもの成長や課題の共有、家庭での対応の相談）<br>・家庭でできる支援の提供（生活習慣・運動・学習のアドバイス、遊びの提案）<br>・ペアレントトレーニング（子どもの行動理解、適切な声かけ、褒め方の工夫）<br>・家族からの悩みや相談に対しての助言<br>・家族の休息、リフレッシュ |
| 移行支援 | | ◆子どもたちが成長に応じてスムーズに次のステージへ移行できるようにサポートする<br>・小学校入学準備（集団活動・指示理解・身の回りの自立支援）<br>・通学に向けた練習（ランドセルを背負う、学校のスケジュールを理解する）<br>・学校見学、体験活動のサポート（特別支援学校・支援学級・通常学級の選択支援）<br>・保護者とともに入学後のサポート体制を構築 |
| 地域支援・地域連携 | | ◆地域の資源を活用し、子どもたちの社会参加を促進する<br>・地域の子育て支援センターや児童館との連携（他の子どもとの交流の機会を増やす）<br>・地域イベントの参加（お祭り、公園遊び、地域のワークショップ）<br>・自治体・福祉機関との情報共有（支援の充実化）<br>・地域の高齢者や異年齢の子どもたちとのふれあい活動<br>・関係する通所支援事業所、相談支援事業所に様子を報告するなど情報を共有し密な連携を図る<br>・通所支援連絡会への参加 |
| 職員の質の向上 | | ◆職員のスキルを向上させ、より質の高い支援を提供する。<br>・定期的な研修の実施<br>（発達障がい・自閉症・ADHDなどの理解、感覚統合療法、SSTの活用）<br>（虐待防止・身体拘束・人権・コンプライアンス・感染症予防、ハラスメント等）<br>・他施設・他機関との情報共有（成功事例・支援方法の共有）<br>・ケースカンファレンスの実施（子ども一人ひとりに合った支援計画の策定）<br>・職場内研修の強化（新入社員の育成、実施を通じた指導）<br>・資格取得の促進（児童発達管理責任者、保育士、言語聴覚士、作業療法士などの資格取得支援）<br>・メンタルヘルスケアの充実（職員負担軽減、相談体制の設備） |
| 主な行事等 | | ◆季節ごとのイベントや行事を計画し、子どもたちが楽しみながら成長できる機会を提供します。<br>児童発達支援と放課後等デイサービスでの内容を調整し、発達段階に応じた体験を重視します。 |